

原子力発電によるCO₂排出の抑制(2 / 3)

【修正前】
2行目「2割弱」、3行目「1割弱」
【修正後】
2行目「2割程度」、3行目「1割程度」

✓我が国において、仮に現在(2002年時点)の原子力を石油、石炭に置き換えたとすれば、同年比でエネルギー起源CO₂排出量は2割程度増加。原子力を天然ガスに置き換えた場合でも、1割程度増加。

	原子力	天然ガス	石炭	石油
発電電力量 (2002年度) [億kWh(e)]	2,949	2,529	2,108	880
炭素排出係数 [t - C / TJ(h)]	0	13.47	24.71	18.66

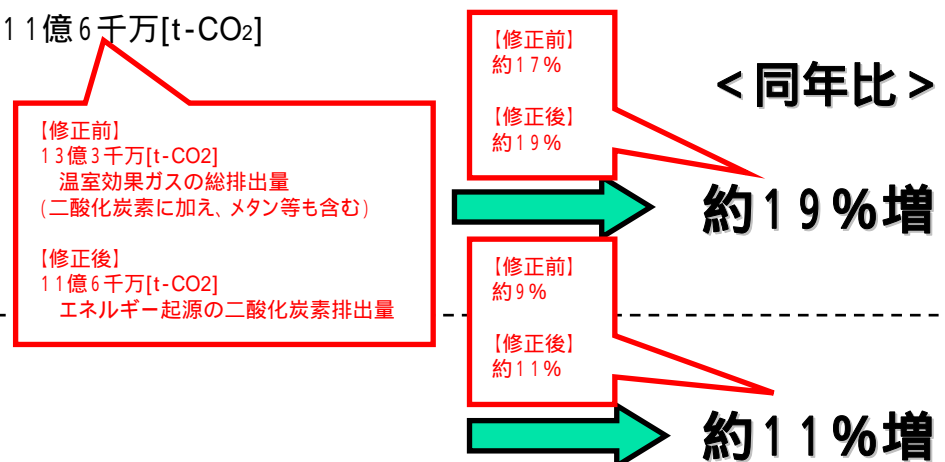
2002年度のエネルギー起源二酸化炭素排出量: 11億6千万[t-CO₂]

原子力を石油・石炭に転換した場合

✓**原子力**による発電電力量分を**石油・石炭で発電**
約2億3千万トン のCO₂増加

原子力を天然ガスに転換した場合

✓**原子力**による発電電力量分を**天然ガスで発電**
約1億2千万トン のCO₂増加



【出典: 二酸化炭素排出量、炭素排出係数・・・資源エネルギー庁ホームページ「エネルギー需給実績(平成14年度確報)」
発電電力量・・・「平成16年度版 電源開発の概要」
単位は[t-CO₂]